

毎月1回 33,100部発行・全世帯配布（1部5円）・昭和31年10月3日第3種郵便物認可

517

520

国保運営委を改選

昨年十月三十日、國保連協
執行委員の任期が満了となり、改
選がなされました。同協会は
加入者十四、四師と篆刻師の代
表四人、公代表委員等について開
かれている市長の諮問機関「新員
」は次のとおりです。(敬称略)

●被保険者(加入者)の代表委員
真山 彌万田(六〇・農園員)
真山 均(真田七〇・農者)
青木 孝(平塚六六・私塾
経営)、中村 晃(平塚新恒

●公益を表する委員
島村 隆(島田七二・市
市議會議員)、八田 知治(田村
六三〇五・市議會議員)、安村

●國保健康保険法または同業割師
を代表する委員
木畑 知(中原一五・三・
平塚新恒三三・市助)、川口 浩
平(平塚新恒二六・市助)、坂
男(平塚新恒二六・市助)、堀
師(平塚市市新恒二四七
・篆刻師)

●國保連協協会の「國保健康保険
の運営に関する重要な事項を審議
する機関」で、一部員は市の副
市長、保健所長、給付期満了の
延長、保険料の増徴や内容、保
険に關する、保険施設の整備の
決定に關すること、國保の
の根本に關する事項で、保険政
策に大なる開きとなること等の審
議にあたります。

[illegible]

平塚家土記 No.83

岡山・少林寺

高 嶺 懐 吾

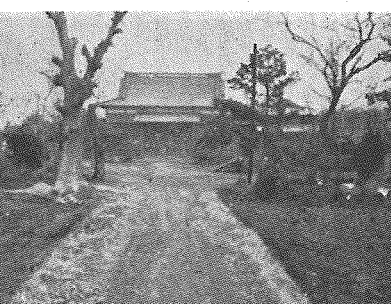
市入野（いの）の地は小糸氏の墳その臣大藤某（部丞と）の説もあるが明瞭（？）の知行地であつたが左衛門佐氏莞の所領とな北条殿によると氏莞は部将だけでよ202貫目ほど持つていてほぼ2000石をいた。

には前々から臨濟宗に属林寺という寺があつたのそ住僧大巖宗椿のためたに3貫目の田畑を加え貫目の寄進状を下附しつて氏莞を開基とすしは大きな位牌をつくつて安というところであつた。

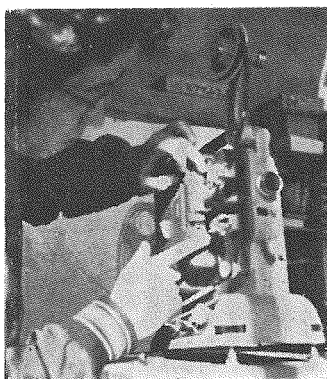
少林寺の参道は曾學道か

ち長持の地で分岐し三つの門を経て本堂に達したと伝説されている。また本堂前には大きな地があり周囲の墓地には形のよい松が植えられていたともいふ。この松を「池郷の松」とよび近年まで何株か残つていたと古者は語つてゐる。また震災（大正12年）前までの庫裡は特殊な構造をもつたもので往古この寺に駆け込んだ者たちのための脱出口まで用意されていたといふ。けれどもこれを考え合わせるの昔の規模はかならず豪華なものであつたことが想像される。

当時の世代譜をみると中興の頃の当寺のことに驚くところはたびたび災厄に遭つて再興された証拠である。近くは北条大綱で全壊した北条大綱でも全焼した。記録の消失したときに挙げた北条氏莞の寄進状が遊佐氏に関する面白い古文書が数遺つたが現在のはたの1枚も残つていない。しかも有力な役員と鎌倉寛永宗廟会下で顕えた18世常念和尚が住山していることは心強い。



昔は長持ちから3つの門を経て本堂に差し、本堂前の大きな池のまわりには池塘の松があつた……入野の少林寺



八ミリ映画

講習会

図書館主催で、ハミリ映画講習会がひらかれます。

▽日時・二月十七日(日)

午前十時〜午後三時まで

▽会場・平塚市図書館

▽講師・杉山日出夫、鈴木武、棚山肇太郎の三氏

▽対象・社教関係者、学校職員、青年団員、愛好者

推計人口

人 口 總 數	117,369
世 帶 總 數	26,600
市 城 面 積	67.88km ²
人 口 密 度	1,729
前月比・世帯増	99
人口・社会増 119 自然増 127	
本 庁 72,872 (世帯17,671)	
大 野 21,192 (" 4,526)	
神 田 4,687 (" 991)	
城 島 1,927 (" 341)	
岡 崎 1,655 (" 228)	
金 田 2,191 (" 438)	
塩 4,679 (" 948)	
土 沢 3,807 (" 619)	
金 目 4,459 (" 789)	

— 1月1日現在 —

広報ひらつか

県下各機転コンクール
 神奈川県主催の県下市町村広報
 紙コンクールにおいて、広報あひ
 つなが、県庁発行第二八〇が
 優秀作第一席に入選したむね、
 二月二十八日入選通知が
 ありました。この結果、広報あひ
 つなは優秀作の金庫、金庫シキ
 リ参加品に選られ、金庫シキ
 出品されました。表彰式は、月
 六日横浜県立水産会館で行われ
 ました。

センター顧問・定二氏（前共
 同通信社社長）と、東京工業
 美術学校教授員・田中正氏、県
 企画課部長佐本敏二氏の
 紙展をへけた。優秀作
 紙は市部、広報あひつな、
 よすな、広報とは、広報
 部・町の光（南足尾町）、紙
 まなつと、広報あひつな、の紙
 展であった。

先着四名市民センターで、
 県公明選挙推進協議会が政治学
 講座の受講者を募集しています。
 ①開講：三月二十六日、二十七日
 ②開講：三月四日の三百回

③内容：地方自治のしくみ、経済
 問題、統制、地方選挙の集約、選
 代方法、おける女性、選挙生
 入開。

④申し込み：二月二十五日まで市
 選挙事務局へ（先着四名まで）

政治大學講座

ては、第一種住宅は、一戸三千六平方メートルで、八戸の建設費は五百一十二万九千九百円でした。東側はすぐ馬入川に面して、松のみどりがあり、あややかの景観をついた別荘です。

また、宮の前団地は八十七戸、千七百九十九坪にわたります。

あたたかい

二二五

からのお札にかえて、福祉事業へ寄せられた篤志行為を「報生活」に因っている人へ：五百圓以上加茂林氏（平塚）、三千円村喜一郎氏（川崎市）、二百二宮孝吾（倉十見小六年）三百円鈴木水樹氏（豊田本郷）百廿元社会福祉協会、ケ－キ百個ロヒコ山根栄治郎氏（平塚市）たび五百圓坂東鶴石工門（平塚新街）。

昭和二十三年三月十四日

百四十六万
円あつまる

歳末たすけあいの結果

と母子寮入所希望に、それぞれ日用品を贈りました。
○お年玉分配、お年玉六百七十二件（保護家庭一百八十四世帯・ボーン・グーメン家庭三百九十九世帯）
○寮、寮費五千五百八十九件（社会福祉施設収容者と長期入院患者百五十八名）、以上のほかふじみ園、興業、進和学園の収容者百三十三名に下着類を贈ることができました。

ありがとう

黄色

黄色いおばさん

▼平塚警察署で婦人交通整理員。黄色いおばさん”を募集中

婦人交通整理・募集

